

# 宇都宮大学 共同教育学部

## 受験生・高校生と学部とをつなぐ高大接続メッセージ集

# 学校好き、集まれ! 第4号

(宇都宮大学は栃木県にある国立大学法人です)

2023年1月発行

### ●●●目次●●●

* 生のメッセージを読むことの重要性 … 1	* 宇都宮で一人暮らしをしてみても …… 10
* 共同教育学部で学ぶときに必要な「3つの力」 …… 2	* 魅力の多い栃木県の情報 …… 11
* 教員採用試験合格者が語る、合格するために大事なこと …… 6	* 教員の出身情報と教員からのメッセージ …… 12
	* 「共同化」の中での学びの風景 …… 14
	* 入試出願情報・編集後記 …… 16

### 生のメッセージを読むことの重要性

編集責任者より

メッセージ集第4号をお送りします。今回も在学生のそして教員の思いの詰まったメッセージ満載です。

最近の大学発信のホームページや SNS では画像や動画が満載の情報提供が多いですが、このメッセージ集ではあえて文章でお届けすることを大事にしています。以前に合格者を対象に行ったメッセージ集に関するアンケートの中で、ある方が「文章が多い」という意見(不満?)を述べていたのですが、メッセージ集はあえてそのようにしています。

その大きな理由として、もし、高校生の皆さんが大学に入って学ぶとしたら、様々な文献や資料を読むしていくことになるので、このくらい量の文章を読むことに抵抗がないことが大事だと思うからです。メッセージ集は、学術的に難しい記述といったものが並んでいるわけではありません。このくらいの量の文章を読み慣れることも標準的になってもらいたいです。

また、別の理由として、画像や動画などのイメージ重視の情報では、良い面だけが強調されたり美化されたりするおそれがあるので、それを避けたいということもあります。どの大学もそうですが、入学してみて

100%の満足を最初からもらえるところなどありません。メッセージ集の中には、その学生なりに不安を感じたことや苦労したこと、努力したことなどが盛り込まれています。そのことを感じ取り、自分のこととして吸収し、主体的に過ごすという意識も重要です。

以上のようなことを理解できる、教員志望の高校生にぜひこのメッセージ集を読んでもらい、共同教育学部を目指してほしいと願っています。しっかり読む中で、学ぶ姿が具体的に想像できると思います。

【バックナンバーもご覧ください。情報満載です】

2022年9月発行の第3号



2022年1月発行の第2号



2021年9月発行の第1号



# 共同教育学部で学ぶときに必要な「3つの力」

教育学部は他学部とは異なる場合があります。また、共同化によって通常の教育学部と異なる部分があります。「学ぶ意欲や姿勢」があれば修学に大きな問題は生じないと思いますが、それでも日々の学びで実感し、後の入学生にもヒントや知恵として伝えるものがあるはずで。授業で良好に学んでいる学生に、学修の仕方について必要なことを3つの「～力」という表現で語ってもらいました。

## 聴く力・解釈する力・繋げる力

国語分野2年，栃木女子高等学校出身（栃木）

皆さんはこれからの大学生活をどのように想像していますか？世間だと「大学は人生の夏休み」というほどの言われ方すらなされ、ある種自由気ままな毎日をイメージする人もいるかもしれません。しかし残念ながら、共同教育学部で教員を目指す以上はそう簡単に修学から逃げることはできません（それは他学部でも同じでしょう）。

しかし、安心してください！共同教育学部の学生はそれぞれに学修の仕方を身に付けています。それにより、長いようで短い大学生活が充実した学びの場となること間違いなしです。そこで、そのほんの一部として、共同教育学部での学びにあたって自分自身に必要な力を3つ紹介します。

私は一番必要な力を「聴く」力だと考えています。何故なら、学修の基本となる力だからです。皆さんは授業中に何をしていますか？おそらく教員の話聴く時間がほとんどでしょう。私達は、他者の話を聴き、それを解釈し、自分なりに思考することで学びに繋がっています。それは大学の講義でも変わりません。共同教育学部の講義（と言うよりも一般的な大学の講義）の時間は90分です。90分間授業をする教員の話を中心して聴くことは辛いかもしれません。私自身、時計と睨めっこしてしまう日もあります。しかし、90分の講義を聴くことで得られる学びの積み重ねは非常に大きいです。ちなみに、日々の課題も「講義を踏まえて」考えたことを文章化するものが多いので、講義をしっかり聴く力を身に付けるとお得ですよ。

以上より、90分の講義をまずは「聴く」ことで知識や他者の考えを取り入れます。そして、講義で聴いた

ことを自分なりに「解釈する」ことが理想の教員となる為にどうすればよいかを考える材料となるでしょう。その結果、講義で聴いたことを教職への道に「繋げる」学修をすることが出来ると考えられます。

以上、お話ししたことが共同教育学部を目指し、そして入学する皆さんの将来の、そして現在の学修の手助けになれば幸いです。



大学の実際の授業については、オープンキャンパスの模擬授業や出前授業で体験すると思います。それらでは「お客様向け」の趣がありますが、まずはそういった授業を主体的に集中して聴けるかが大事になります。

2022年度のオープンキャンパス  
の報告はこちらをご覧ください。→



## 計画力・継続力・修正力

技術分野2年，宇都宮北高等学校出身（栃木）

共同教育学部の授業は、授業後や期末にレポート課題が多いことが特徴です。そのため、普段から計画的に学習に取り組む必要があります。大学では、自分で受けた授業を履修します。そのため、自分自身が継続的に学びに向かう姿勢で臨むことが重要です。大学生活を「人生の夏休み」と言ったりする人もいますが、そのような時間的余裕は、計画的に課題をこなし、主体的に授業へ参加して良好に学修しているからこそ得

られることだと思います（編集者注：前の方のメッセージでも同じフレーズが出てきたと思って検索をかけてみたら、確かに使う人がいるようで、しかも検索結果は「それは嘘だ」というものが多かったです）。

教育学部へ進学してきた学生のほとんどは、将来は「学校の教員」を目指しているでしょう。私もそうです。そのような学生の中には、どのような先生になりたいか、ある程度定まっている人もいれば、具体的にどのような先生になろうか決まっていな人もいます。私は後者ですので、共同教育学部での授業を通してどのような先生になりたいか、教師像を構築している最中です。教師イメージが定まっていようがまいが両者ともに言えることは、先生になるために自分に足りないことは何か「課題」を明らかにし、解決に向けたプロセスを計画することが重要であるということです。そのプロセスを、授業を通して明らかにして最善の解決策を設計することで、深く楽しい学びにつながり、教師像の確立に役立つと思います。

共同教育学部の学修は、グループ協議が多いことも特徴です。そのため、自分を柔軟に変えることも必要です。グループ討論の際、「自分の意見が絶対に正しい」と思うことも多々あります。そこで、「正しいよね」と一方的に押し切るのではなく、一度意見を受け入れ、自身の見方を適切に修正してみることも大切です。

以上のことから分かるように、「継続力・計画力・修正力」という3つの力を大きな軸として、私は日々勉学に励んでいます。



学生の声については、学部ホームページの中にも上の画像（顔写真ゆえ大きく加工しています）のような動画コーナーがあります。このメッセージ集に寄稿してくれている方々と同様、どのような「力」のことが示唆されているか感じ取ってください。

## コミュニケーション能力・継続力・思考力

家政分野2年、鹿沼高等学校出身（栃木）

私が共同教育学部で学ぶときに必要だと思う3つの力は、コミュニケーション能力、継続力、思考力です。

まず、コミュニケーション能力については、共同教育学部に限らずどの学部でもとても大切な力だと思います。大学は高校までとは違って、自分で何かを決めることがほとんどです。しかし、そのためには情報を集めることも必要で、人脈や友達もとても重要になってきます。共同教育学部では、分野が混ざったクラス内の多様な仲間だったり、分野でも年上の先輩だったりに話を聞くことも多くなります。そのためには積極的にコミュニケーションをとることが必要になります。それを基に交流が広がることで、大学生活をより楽しく、有意義に送れるようになると思います。

コミュニケーション能力については、大学内だけではなく、実習関係でも問われます。共同教育学部では2年生には小学校への教職ボランティア、3年生には複数の教育実習と、小学生や中学生と関わる機会がたくさんあります。その機会に、ある程度の教師要素を含むコミュニケーションを発揮できることで、児童生徒との信頼関係を作りやすくなると思います。

次に継続力です。これは、教科の指導法を学ぶときにとても必要になる力だと思っています。講義で学んだことを活かし、模擬授業や指導案を作っていくので、こつこつと学びを継続して、積み上げておくことが大切だと思います。持続することはなかなか難しいことでもあります。しっかり向き合うように努めると、継続的に様々なヒントが得られると感じます。早い段階で学習指導要領や指導案の書き方も教えてもらえるので、それらをしっかりと身に付けておくことで、さらに深い学びに繋がれると思います。

そして、最後は思考力です。大学の講義では、自分の意見を発表したり、グループディスカッションがあったりと、自分の考えをまとめる機会がたくさんあります。その際にただ一方的にしゃべればよいわけではなく、自分の知識や経験をもとに、物事に対して相応の思考力を駆使する必要があります。また、自分のことだけでなく相手のことを推し量るという思考力も話し合いの際には大切になってくると思います。

以上のことから、私はこの3つの力がとりわけ必要であると考えて日々の学習に取り組んでいます。



私立大学よりも教員一人当たりの学生数の比が小さいことにより、少人数の綿密な授業を行える利点があります。その中で受講者同士がコミュニケーションをとれ、思考力を発揮できることは重要な受講能力になります。

## コミュニケーションをとる力・共に学ぶ力 粘り強く取り組む力

数学分野2年、佐野東高等学校出身(栃木)

共同教育学部を希望しているみなさんに、私から、魅力溢れる共同教育学部での学びに欠かせない3つの力をお伝えしたいと思います！

まず1つ目は、他者とコミュニケーションをとる力です。私たち共同教育学部の授業では、毎日、周りの人と考えを共有したり、話し合ったりする時間があります。目の前にいる宇大生との話し合いはもちろん、遠隔で共に学んでいる、群馬大学生との話し合いもあります。それなので、誰とでも話すことのできる力が、非常に大切になってきます。

2つ目は、他者と共に学ぶ力です。共同教育学部では、自分の専門とする分野はもちろん、小学校の先生になるために、自分の専門外の分野の授業も受けなくてはなりません。もちろん、その中には、苦手な分野もあります。しかし、この共同教育学部は、得意分野の異なる様々な人が集まった学部であるので、周りには頼れる人が沢山います。友人と協力し合いながら、共に学びに向かうことできれば、共同教育学部での学びも楽しくなると思います。

そして、3つ目は、最後まで粘り強く取り組む力です。共同教育学部は実際、他学部に比べると卒業単位

数が多いです。そのことに加え、2年生では、小学校に教職ボランティアとして行き、3年生では、複数の教育実習が行われます。様々な体験の中で、私たち学生は仲間と共に、学年が終わる最後の最後まで全力で走り抜けています。ぜひ、みなさんも最後まで粘り強く取り組む力を持っていただき、このような大学での諸活動を体験してほしいです。

以上の3つの力を兼ね備えたみなさんと、共同教育学部で共に学べる日が来るのを、心から楽しみにしています！

第2次試験(第1次試験の合格者について行う。)  
<作文、面接試験(集団討論[教育に関するテーマ]、個人面接)、実技試験>

### (2) 個人面接

- ①面接委員…民間企業の人事担当者等、教員以外の行政職員を含む4名
- ②面接時間等…1人20~25分程度
- ③評価の観点…主として指導力・堅実性・判断力
- ④総合評価…ABCDEの5段階評価

### (3) 集団討論

- ①面接委員…民間企業の人事担当者等、教員以外の行政職員を含む4名
- ②面接時間等…1グループ(10人程度)40~50分程度
- ③評価の観点…主として協調性・対応力・堅実性
- ④総合評価…ABCDEの5段階評価

### 【第2次試験】

※ 選考については、原則、下記1、2、3に示すとおりとする。

#### 1 候補者の決定について

(1) 集団討論、個人面接について(面接委員8名による評価)

- 次の①、②のいずれかを満たす者
  - ① DまたはEの評価を受けていない者の中で、面接委員の4名以上からAまたはBの評価を受けた者。
  - ② 1名のみDの評価を受けた者の中で、面接委員の6名以上からAまたはBの評価を受けた者。

令和5年度の栃木県教員採用試験の情報より、2次試験には集団討論や個人面接などコミュニケーション力を要する課題が相応にあります。平日頃の学修での対話に必要なことは言うまでもなく、試験での評価者がいるような場面でも駆使できるとよいと感じます。

以上のような力を発揮する必要がある共同教育学部の授業の実際を感じてもらうために、前号のメッセージ集第3号の中で、**実際の大学の授業で課された課題(宿題)やレポート**の情報を多数掲載しています。

下のQRコードからぜひご覧ください。



## 宇都宮大学&共同教育学部に関するクイズ

宇都宮大学共同教育学部で生活している学生なら誰でも分かる問題です(おそらく)。高校生の皆さん、宇大に入学したつもりで、先取りして宇大内の様子を「かじって」おきましょう。

Q1 令和5年1月現在、宇都宮大学の1時限目の開始時刻は？

- ① 8時40分      ② 8時50分      ③ 9時00分

Q2 令和5年1月現在、共同教育学部の教員の研究室がある建物は何号館？

- ① 4, 6, 8号館      ② 6~8号館      ③ 8~10号館

Q3 令和5年1月現在、8号館の収容人数最大の教室番号は？

- ① 8A31 教室      ② 8D11 教室      ③ 8E11 教室

Q4 令和5年1月現在、8号館B棟の屋上にある施設は？

- ① 天文台      ② テニスコート      ③ 栽培畑

下が答えになっているので、ここで一度ストップ！ 選び終わったら下へ。

<答え>

Q1 ① 8時40分開始です。

令和2年度から群馬大学との共同教育学部化にあたって、群馬大学の時間に合わせる形で、大学全体で8:40開始となりました。それまでは8:50開始。こういったところにも共同教育学部の影響がありました。

Q2 ② 6号館, 7号館, 8号館に教員研究室や主たる授業教室があります。

峰キャンパスには1号館から8号館まであり、正門からみて右側から反時計回りに建物番号が振ってあります。共同教育学部の授業は、正門から見て左側にある6~8号館が主たる場所となります。

Q3 ② 8号館D棟の1階にある教室です。

4ケタの数字記号の意味は、1桁目→号館の数字、2桁目→その館の棟の記号、3桁目→その棟の何階か、4桁目→その階の何番目か、ということ。8D11は高校生の皆さんも入試で入るはずの教室です。

Q4 ① 天文台があります。 <https://ameblo.jp/udai-tenmondai/>

テニスコートはグラウンドの一角にちやんとあり、畑はものすごい農場を持つ農学部があるので……。天文台では様々なものが観測できます。公開のチャンスに恵まれたらぜひ見てください。

# 教員採用試験合格者が語る、合格するために大事なこと

今年度も多くの教員採用試験合格者が出ました。多様な試験内容の準備を長い時間積んで試験に臨みます。その点では高校生の大学受験と変わりないです。在學生は皆、大学合格経験者ですが、教員採用試験においては合格と不合格が残念ながら分かります。その差を分けるものとして、意識や学び方などのいくつかのポイントがあり、高校生の大学受験にヒントとなる要素があると感じます。教員採用試験合格者の取り組みについて語ってもらい、学びを振り返る画像も1枚示してもらいました。

## 学習方法のすゝめ

英語分野4年、真岡女子高等学校出身（栃木）

〔小学校教員で合格〕

教員採用試験に向けた私の学習方法について紹介します。少しでも皆さんのお力になれば幸いです。

本格的に一次試験の勉強に取り組んだのは3年生の2月からでした。参考書を取りあえず一周しようかなという気持ちで勉強を行い、各教科のノートを作り、見直しをしていました。一冊にまとめるよりも教科ごとの方が見やすかったのでおすすめです。

モチベーションを保つための一つの方法として、学習時間を記録することをおすすめします。今週はこれだけできた、今月は何時間勉強できたなど、学習の成果を目で見ることができ、自信につなげていくことができました。

二次試験の勉強についても3年生の2月から始めました。就職支援室から教育雑誌を借りて、時間があるときに読んで対策を考えました。

4年生の4月からは小論文を書き始め、就職支援室の先生に添削してもらいました。就職支援室の先生方は優しく丁寧に指導してくれました。苦手とする内容こそ早くから取り組むことをおすすめします。高校でも指導に尻込みしてしまう人もいるかもしれませんが、ぜひ勇気を出して添削等してもらいましょう。

一次試験が終了すると、同じ教員志望の学生たちと集団討論や面接の練習を集中して本格的に行いました。直前での練習のため、うまくいかないと何度も落ち込み、不安な気持ちになりました。食欲が無く、眠れない日もありました。そのときに救われたのが、友人や

就職支援室の先生方の支えでした。

自分一人では教員採用試験を乗り越えることができなかったと思います。試験となると不安な気持ちが生まれ、練習中上手くいかないこともあると思います。しかし、自分がやってきたことを信じ続けていけば努力は実っていきます。長い戦いも、周りの仲間と励まし合うことで乗り越えていけるとと思います。ペースを保ちつつ、コツコツ積み重ねていくことが合格に近づく大きな一歩だと思います。頑張ってください！



<私の1枚>

試験内容別に分けたノートです。自分でまとめることで頭の中が整理されますし、見直すときも定着しやすかったです。これらのノートがたまることで、自らの努力も目に見え、不安軽減の1つにもなりました。

## 人と比べすぎずに、自分を信じて

国語分野4年、葵高等学校出身（福島県）

〔高等学校教員で合格〕

共同教育学部で教員を目指す人にとって、避けては通れない大きな山場が「教育実習」、そして「教員採用

試験」です。この記事を読んでくださっているみなさんも、定期テストや大学入試に向け、日々学習に取り組まれていると思いますが、教員採用試験対策もその試験に応じた独特の苦勞がありました。

私が教採対策を行う上で最も大切だと思うことは、出題傾向を把握し、それに応じた自分の学習スタイルを確立し、続けることです。教員採用試験は、受験する校種や教科、自治体によって試験内容が異なります。そのため、それぞれの受験者が、それに応じて求められる知識や能力を把握し、身につけなければなりません。そのために自分にはどのような学習法がよいのかを見つけることは、合格のために必要不可欠です。

私自身は2つのことを実践しました。まず1つ目は情報収集です。敵を知り、己を知れば、百戦危うからず。合格へ向け、自分に不足していることを知る「情報収集」は非常に重要でした。私は、同校種で合格された方にお話を聞いたり、就職支援室からテキストを借りて過去問分析をしたりしました。

2つ目は、学習方法を変えずに「繰り返した」ことです。友人と一緒にの学習では、モチベーションを保ったり、新たな知識を得られたりする一方、「自分とは全然違う対策をしている…」と不安になることもあります。しかし不安のあまり、あれこれと様々なテキストに手を出すと、かえって身につかず、余計に焦ってしまうことがあります。私は使う参考書をできるだけ精

選し、それらを繰り返し解くようにしていました。

採用試験の実態も、試験対策の方法も実に様々です。これから受験する方々も、ぜひ自分なりの方法で、自分を信じてチャレンジしていただければと思います。

## 自分を理解して学習する

特別支援教育分野4年、宇都宮中央女子高等学校出身（栃木）

〔特別支援学校教員で合格〕

教員採用試験を終えて、私が大切だと実感しているのは、「自分を理解して学習する」ことです。簡単に言うと、自分に合ったやり方を見つけて、より効率的で質の高い学習をしようということです。

私はサボり癖があるほうで、試験勉強が捗っていたなどとは言えるほうではないかもしれないと思っています。自分の性格を変えるのは難しい、それなら学習方法を上手に変えようと思いました。私は長時間になると注意散漫になりサボりたくなるという弱点があると思っています。逆に言えば短時間なら集中できるということです。そこで、短時間の学習時間を何回も作り、試験の勉強をしていました。これが私に合った学習方法となりました。

大学受験と同様、教員採用試験も内容は幅広く、暗記を必要とする内容（人物名や法律）もあります。暗記の仕方や方法についても様々でしょうが、私は高校で競技かるた部に所属しており、試合では15分間で札50枚の配置を覚えていました。その経験から、私は書いて暗記するよりも見て暗記することが得意だと認識し、そのような形で記憶するようにしました。

適した方法を見つけることで、効率が高まり、質の高い学習ができると思います。私の友人は絵でイメージ化して覚えたり、自作の語呂合わせを作ったりしていました。このように方法は様々なので、ぜひ自分の方法を探してみてください。

また、試験を乗り越えるためには、自分を労わることも大切です。私は「疲れたらちょっと休憩」ということを心がけていました。試験直前は無理もしていましたが、結局は頭には入っていなかったと今は感じます。10分アラームをかけて寝る、飴一粒食べ終わるまで休憩など、自分を労わることも、長期戦の試験勉強



### <私の1枚>

専門教科の学習で使用したテキスト達です！古文単語帳は高校生の時から使い続けている思い出のあるものです。ですから、今の高校の勉強を大事にしてください。教科の専門試験ではそれが大きく生きてきます。

を最後まで戦い抜くためには必要だと実感しました。

あくまで私が考えたものではありませんが、何かしら参考にしていただけたらうれしいです。これを読んだ皆さんが自分の夢を実現できることを願っています。



<私の1枚>

就職支援室にはたいへんお世話になりました。画像は参考書・過去問の棚です。複数の参考書があるので、購入したいときにも参考になります。また、先輩たちが残してくれた面接での質問等の過去問情報もあります。

## 受験は団体戦

数学分野4年、宇都宮高等学校出身（栃木）

〔中学校教員で合格〕

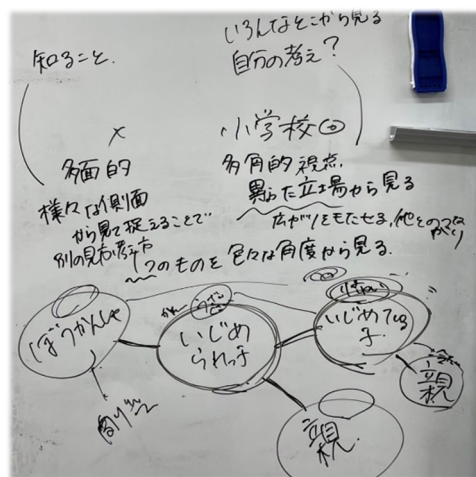
「受験は団体戦」ということは大学入試においてよく言われていることです。教員採用試験に関しても私は団体戦であると感じました。

教員採用試験では、教養科目が出題される自治体がほとんどです。宇大では分野に分かれているので、それぞれの教科の専門的な内容を互いに教え合うことができました。例えば、私は過去問を解く中で月の満ち欠けについてわからないことがありました。そのときに理科分野の友達に話を聞き、理解することができました。もちろん、私が数学について教えることもありました。

分野内でも同様です。人それぞれ、受験する校種は様々でしたが、数学分野の仲間と互いに聞き合うことや話し合うことができました。夜まで友人と大学内で勉強し合ったり議論し合ったりしたことはよい思い出です。教員採用試験を勉強しているとしばしばわからないことに直面します。例えば、私は「多面的」と「多

角的」の違いがわかりませんでした。これらは答申や学習指導要領でよく見かける文言で理解しておかなければなりません。私たちはわからないことがあれば互いに聴き、そして議論し理解を深め合うことができる関係性でした。「多面的・多角的」についてもみんなで議論し、自分たちの言葉でまとめました。もちろん、他にも学部先生方、就職支援室の先生や同窓会の先生の力もお借りして、私は夢である教員になることができました。

教員採用試験を通して改めて就職支援室の先生やほかの分野の学生から「数学分野は仲がいい」とよく言われました。しかしきっとほかのクラスや分野も同様です。大学に合格するとステキな仲間や先生に出会えます。皆さんの宇大合格を祈っております。



<私の1枚>

分野で話し合いを行った際の、ホワイトボードの写真です。原稿内で挙げた、「多面的・多角的」について話しあったときのものです。このように話し合ったことを視覚化して整理することで、理解が深まりました。

## 仲間と共に乗り越えた試験勉強

教育分野4年、足利女子高等学校出身（栃木）

〔小学校教員で合格〕

今年度から小学校の採用試験の出題が少し変わり、その部分の出題の様子も対策の仕方も手探り状態での不安を抱きながらの試験対策開始でした。勉強方法は、過去問や問題集の内容をルーズリーフにまとめ、自分なりのノートを作り勉強しました。大学受験の時も自分なりのノートをまとめ勉強をしていました。大学への通学に往復で3時間近くかかるので、逆にそれを活



かして、電車に乗っている時間はノートを見て、何度も復習をしました。

3月からは、友達の紹介で教育心理分野の先生の主催する勉強会へ参加することになり、過去問や問題集を解き、みんなで答えの確認をしたり、分からないところを友達同士で教え合ったり、先生に解説をしてもらったりしました。分からないところは恥ずかしがらずに分かるまで何度も聞き、苦手をそのままにしないよう心掛けていました。勉強会の参加者一人一人がそれぞれに苦手とするところがあったのですが、お互いに教え合い、解くことが出来たらみんなで喜びあう、良い雰囲気勉強を行うことができました。

勉強会では勉強だけではなく休憩時間にお菓子を食べながら楽しく話をし、気分転換しながら勉強に取り組みました。一日の勉強時間が増えて辛いと思ったことや、力がついているのか不安に感じたこともありますが、友達と励まし合いながら、先生に不安を聞いてもらいながら、乗り越えることができました。

また、学校に頻繁に行っていたため、同じ夢に向けて頑張っている仲間や知り合いの姿を見て、私だけじゃないと頑張ることができました。就職支援室の先生

方や、論文を添削していただいた先生、ゼミの先生など周りの人にたくさん支えてもらい自分の夢に向けて学ぶことができた大切な時間でした。

自分に合った勉強は人それぞれだと思います。様々な方法を試してみて、私と同様に「自分に合う」勉強法を見つけてみてください。私の経験が少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

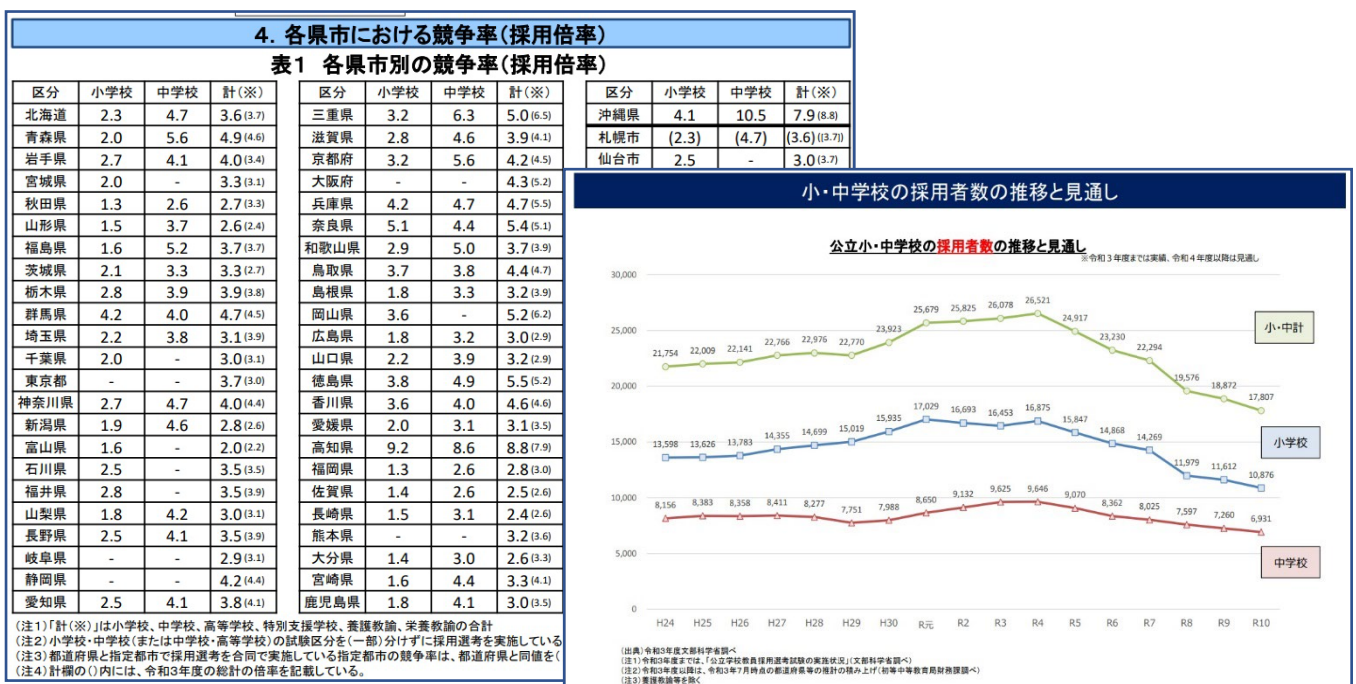


<私の1枚>

まとめたノートを集めてみました。基本的な参考書と合わせて、電車内学習のお供となりました。勉強会帰りには、同じ方向に帰る勉強会仲間とその日の内容やその他いろいろなことを話して、気分転換になりました。

## 教員採用試験倍率の現状と教員採用数の今後の見通しについて

下の画像は文部科学省のサイトより。 [https://www.mext.go.jp/content/20220909-mxt\\_kyoikujinzai01-000024926-3.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220909-mxt_kyoikujinzai01-000024926-3.pdf)



現在の教員採用試験の受験倍率は低いという報道がありますが、仮に2.0倍なら受験者の半分は不合格ということですから。見通しの情報からは、採用数が少なくなり倍率が上がる可能性もうかがえます。通常学修に加え、着実な試験準備が欠かせません。

# 宇都宮で一人暮らしをしてみてもいい

今年度も北は北海道から南は九州までの出身者が共同教育学部に入学しました。他所から来て初めて一人暮らしになった人も多いはず。一人暮らしは自由な思いを味わえる反面、今まで親に頼っていた日々の家事等を一人でやる大変さもあります。宇都宮で一人暮らしをする実際の様子やこれまでの体験を在学生に語ってもらいました。新入生の素敵な新生活につながることを願っています。

## 住みよい街、宇都宮

美術分野2年、帯広大谷高等学校出身（北海道）

みなさんは、一人暮らしが楽しみです？不安、大変そう、寂しそうといったイメージが強い方もいるかもしれません。私はというと、とても不安でした。私の出身は北海道なので、入学するまで宇都宮はおろか栃木にすら足を踏み入れたことがありませんでした。もちろん県内に知り合いもおらず、期待より不安が大きかったことを覚えています。

しかし実際に一人暮らしをしてみると、宇都宮は田舎すぎず、かといって都会すぎない住みやすい場所だということがわかりました。車がなくても自転車があれば大抵の用事は済ませられますし、1～2時間あれば気軽に東京に行くこともできます。実際、私は月に1回程度日帰りで東京に行き、美術館などを巡ります。また、市内に大型のショッピングモールやオシャレなカフェなどもあるので、休日も退屈しません。

もちろん、一人暮らしではいろいろなことを自分一人でやらなくてはならないので、楽しいことばかりではなく、大変なこともそれなりにあります。きっと多くの方が心配しているのが、学業と家事の両立かだと思います。私も、最初の頃は大学の課題をこなしたり新しい環境に慣れたりすることに手一杯で、うまく両立できていませんでした。しかし、課題はその日のうちにこなす、やるべきことの優先順位を考えて無理なくこなすといったことを意識するうちに、段々と一人暮らしのコツを掴むことができました。

大変なことはあれど、慣れれば逆にそれが楽しく感じられますし、きっと宇都宮でなら問題なく楽しい生活を送れると思います。ぜひ皆さんにも充実した新生活を送っていただきたいです。

## 周りの支えに感謝

数学分野2年、太田女子高等学校出身（群馬）

高校生のときは勉強と部活に励んでいて、家事を手伝う余裕もなく、身の回りのことを親にやってもらってました。そんな私が一人暮らしをすることになり、親はとても心配したことでしょう。そんな心配とは逆に、私は何とかなるだろうという自信がありました。

実際に一人暮らしを始めてみて感じたことは、意外と自分で何でもできるということです。大学の周りには、スーパーやドラッグストア、コンビニエンスストア、大型ショッピングモールなどがあり、自転車があれば生活に必要なものは全て買いに行くことができます。宇都宮駅からバスが多方面に通っていて、宇都宮は生活しやすい街だなと感じました。料理、掃除、洗濯など、約18年間生活してきた皆さんならできると思います。しかし、継続することが大変です。私はこの継続する大変さを感じ、親への感謝の気持ちが溢れてきました。

また、一人暮らしは家族や地元の友達に会えなくて寂しいと感じてしまう心配があるでしょう。しかし、宇都宮大学の学生は優しい人が多く、入学してすぐに友達ができました。そのため、毎日楽しく学生生活を送ることができ、寂しいという思いはありません。私はサークルに所属しているので、共同教育学部の友達だけでなく、他学部の友達、先輩とも仲良くなれました。一人暮らしの悩みだけでなく、大学の勉強や履修登録の不安を先輩に相談することができ、とても助けていただきました。

みなさんも一人暮らしを始めて不安があったら気軽に相談してください！先輩が優しく相談に乗ってくれると思います。宇都宮で暮らしてみませんか？

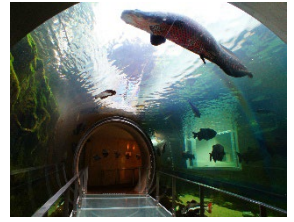
# 魅力の多い栃木県の情報

栃木県には魅力的な場所やものがいっぱいあります。今回、市町別の地図を使って、比較的名の知られている観光地やものを**赤文字**で示しました。また、風光明媚なところをいくつか選び、画像と一緒に**青文字**で示しました。栃木に来て、4年間で様々な場所を訪れてください。

もみじ谷大吊橋



なかがわ水遊園



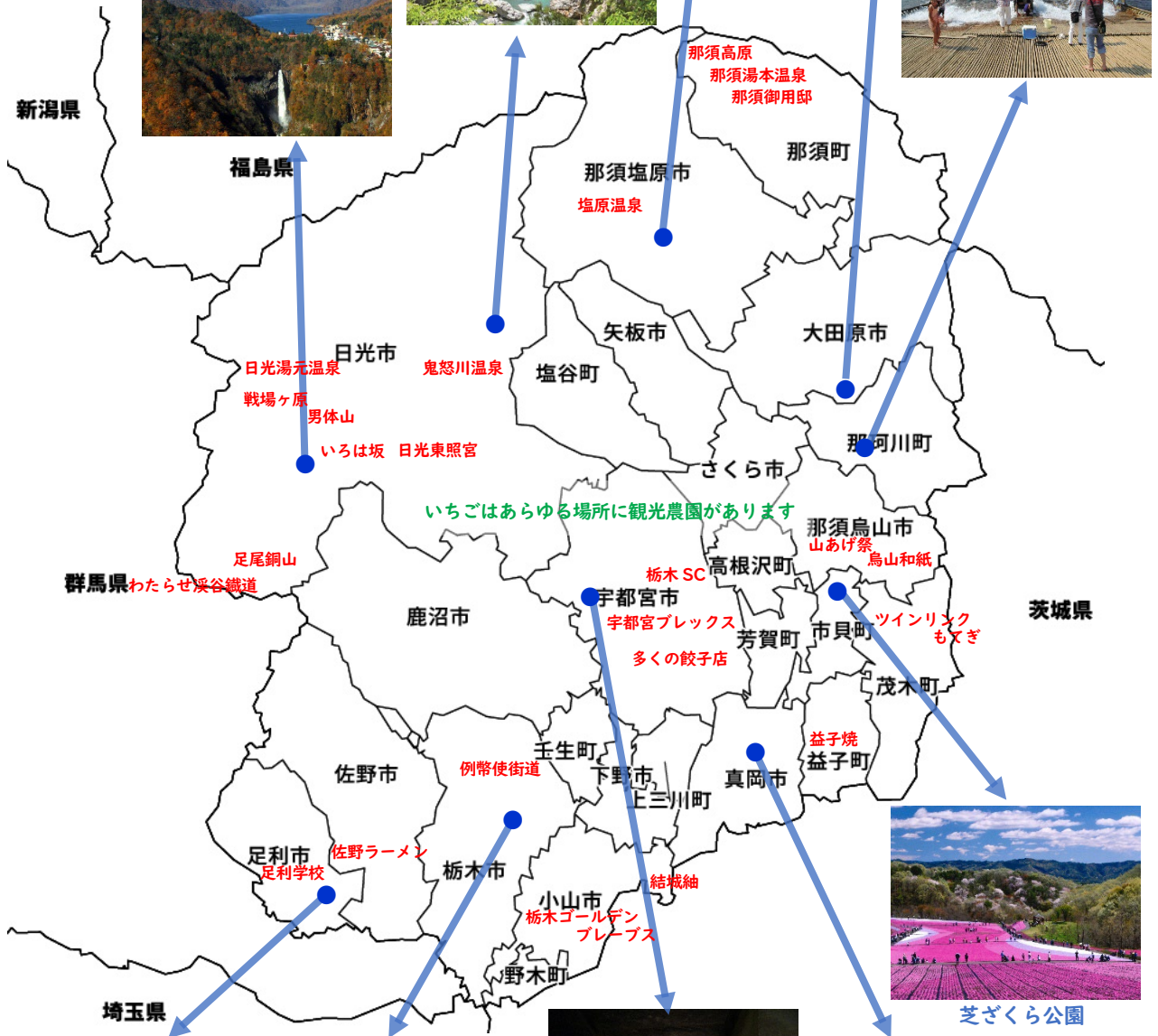
龍王峡



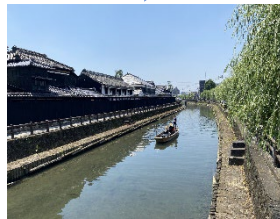
鮎が食べられる観光やな



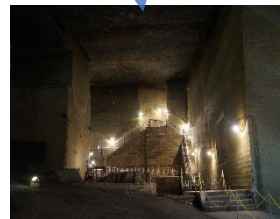
中禅寺湖と華厳の滝



あしががフラワーパーク



蔵の街遊覧船



大谷石資料館



真岡鐵道のSL



まざくら公園

白地図は、マップ・イットのものを使用しました。 <https://map-it.azurewebsites.net>  
 画像は、とちぎ旅ネットのものを使用しました。 <https://www.tochigiji.or.jp/>

## 教員の出身情報と

### 教員からのメッセージ

共同教育学部には、現在約60名の教員がいますが、出身は様々です。これを読んでいただいている全国の皆さんの身近な教員がいるかもしれません。

今回、出身都道府県の調査と高校生へのメッセージに協力してもらいました。未来の入学生に思いを寄せている教員がたくさんいます。宇都宮での生活にチャレンジしてみてください、ぜひ。



共同教育学部の教員の会議の合間に集合写真を撮りました。入学したら、ここに写っているほとんどの教員の担当授業を受講するはずですよ。

#### <甲信越・東海・近畿>

石川 2, 福井 1, 静岡 1, 愛知 1, 兵庫 4,

- 栃木県には結城紬・真岡木綿・鹿沼麻の伝統があり、衣生活科学を学ぶ豊かな風土があります。私の出身は播州織の産地で、木綿で繋がっているご縁も感じながら、故郷の若者が来てくれることを願っています。[兵庫県出身教員]

#### <九州>

福岡 1, 宮崎 1, 鹿児島 1

- 共同教育学部は、国際学部や農学部が同じ敷地内にあるので、教育学を学びつつ、他分野の先生や学生からグローバル、地域、農業的な視点を学べる世界や地域に開かれた学びの多い学部だと思います。[宮崎県出身教員]
- 大隅出身者からすると新幹線どころか電車が走っているだけでも…。若いとき地元を離れて異なる環境に身を置き、出身地を客観視できることは意義深いと思います。そして地元に戻る。東京にも近い宇都宮で学びませんか。[鹿児島県出身教員]

#### <中国・四国>

岡山 1, 山口 1, 香川 1, 愛媛 1

- 空海の出身地である香川県は真言宗の座主を最も多く出した県であり、栃木県は「天台座主」(天台宗のトップ)を最も多く輩出した県です。ともに歴史的に豊かな文化風土を持つ県なのです。世界各地から訪れる留学生とも親交を結びながら、教育学部で日本の文化を幅広く学びましょう。[香川県出身教員]
- 同郷会開きましょう。[愛媛県出身教員]

白地図は、国土地理院の次のものを使用しました。2ページにわたるため、分割する加工を施しました。

<https://maps.gsi.go.jp/#6/35.776229/125.738525/&base=blank&ls=blank&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f2&d=m>



### <北海道・東北>

#### 北海道 1, 宮城 1, 秋田 2, 福島 1

- 宇都宮大学共同教育学部で学ぶとかけて、意味と解く。その心は、群馬大学と宇都宮大学の「共同」のつもりが両大、両附属幼・小・中・特別支援学校の教員が「協働」し始め、新たな教育の意味を作りだしているから。  
[秋田県出身教員]
- 私は宮城県出身で大学院まで仙台で過ごし、宇都宮大学に採用されて初めて宮城を出たのですが、栃木県はとても暮らしやすいです。宇都宮駅周辺は何となく仙台駅に似ています。宮城の皆さん、宇大でお待ちしています！ [宮城県出身教員]
- ご存じの通り、宇都宮大学のある栃木県は、福島の隣県ですので、何かあってもすぐに戻れます。ほどよく地元を離れてみることで、改めて福島を相対化して見るができるようになると思いますよ。 [福島県出身教員]

### <関東>

#### 茨城 2, 栃木 5, 群馬 2, 埼玉 1, 千葉 3, 東京 4, 神奈川 3

- 東京から新幹線で50分ぐらいで行けて、しかも、宇都宮駅からも近い立地の優れた国立大学です！ [東京都出身教員]
- 栃木の名物、餃子、イチゴ、かんぴょう、宇大、ぜひ味わってみてください。待っています！ [栃木県出身教員]
- 混雑する電車と幹線道路の渋滞にも慣れている皆さんですが、南の東京ばかりではなく北の近県にも目を向けてみませんか。宇都宮へは埼玉県北部、宇都宮線沿線からは通学圏です。県南部からは通学は難しいと思いますが、近県県庁所在地の暮らしやすい環境で、程よい規模の大学で、自分のペースで充実した大学生活を送ってみてはいかがでしょうか。 [埼玉県出身教員]
- 宇大は教員と学生との距離が近く、アットホームな雰囲気の中、教員の卵として必要な知識や実践知を得ることができます。忙しくも充実したキャンパスライフをお望みの皆さん！お会いできるのを楽しみにしています！ [東京都出身教員]
- 茨城県民にとって栃木県や宇都宮市は近くて遠くに感じるところかもしれません。近くて遠いところだからこそ学べることや気づくこと、体験できることもあるはずですよ。 [茨城県出身教員]
- 栃木県は内陸部にあり、海に囲まれた千葉県とはかなり異なる気候と風土を有します。宇都宮は、車で2時間程度で地元に戻る安心感と、異なる風土で学生生活を送る面白さが共存する場所だと思います。 [千葉県出身教員]
- 実家の横浜ではいつも道路が混雑してましたが、宇都宮では車の生活が快適。夕方の通勤ラッシュも7時くらいには終わっています。街が平らで自転車も便利。とっても住みやすい街です。ぜひいらしてください。 [神奈川県出身教員]
- 宇都宮大学は北関東に位置し、東京から新幹線で1時間かからずにアクセスできます。宇都宮市内は公園も多く、春にはいたるところできれいな桜が咲きます。宇都宮大学には栃木県のみならず、多様な地域出身の学生が多くいます。多様な考えに触れながら学びを深めましょう。 [東京都出身教員]
- 私は神奈川県・横浜市出身です。栃木県は、横浜とは異なる自然の中での人の営みがあるように感じています。是非、そのような営みを見つけに来てください。 [神奈川県出身教員]

# 「共同化」の中での学びの風景

「共同ってどういう感じですか?」といったことは、オープンキャンパスの時にも尋ねられます。遠隔授業のことは、口で説明するより実際の様子をお見せしたり体験したりするほうがよいと感じます。また、両大学が直接交流する共同教育学部独自の授業もあります。今回、それらの授業の様子を撮影できたので、学びの風景を画像でお見せします。「ならでは」の雰囲気を感じ取ってください。

## \*1年生での齊一科目の授業【受信側】

(教育心理分野の「心理教育統計学の基礎」より)



群馬大学発信の授業を宇都宮大学で受信して受講。教員が確認できるようにカメラ位置との関係で特に映りやすい場所に座って受講しています。



受信画面の様子。マルチ画面で群馬大学側の授業の様子と PC の画面とが呈示されています。機器には両大学の学生の姿を映せるスイッチもあり、ディスカッション等で使用されたりします。



全学生が PC を利用しているのが分かります。現在は BYOD (Bring Your Own Device) ということで、学生個人のノート PC を持参するのが前提です。この授業では、統計の問題演習を教員の指示で操作する等していました。

## \* 3年生での両大学交流の授業

(「教職特別演習Ⅱ」より；2022年度は分野別実施)

「教職特別演習ⅠⅡ」とは共同教育学部で設定した独自の科目です。Ⅰを2年次、Ⅱを3年次に行います。「双方の大学の学生との交流を通じて、教育実習での成果と課題を確認し、教職への意識・意欲を高める」という授業目的があります。2022年度はコロナ禍の懸念で宿泊ができませんでしたが、どの分野も自分分野の特色を活かした2日間の交流計画を立てて準備しました。すでに実施済みの2分野の様子を紹介します。

### 【家政分野での交流の様子】



12/3～12/4で実施し、初日は宇都宮大学で、2日目は群馬大学で実施しました。調理実習という分野ならではの専門的活動で共同体験をしました。「餃子」や「こしね汁」など両県の郷土色の強い献立でした。またSDGsのカードゲームや上毛かるたを行い、楽しみつつも教育的な情報を得るようにしました。ディスカッションを通して、「教育実習の振り返り」や「家庭科教員の資質・能力」についての検討も行いました。

### 【教育心理分野での交流の様子】



12/5～12/6で実施し、両大学からほぼ同じ距離にある栃木県足利市で実施しました。グループエンカウンターを取り入れたアイスブレイクや教育実習の振り返りを行いました。すごろくを使うなどゲーム要素もあり、一方では自分自身のあり方をしっかり見つめ、お互いがそれに耳を傾けるカウンセリング的要素もありました。教育心理の全国の採用試験問題も皆でワイワイ解き、最後は体育館で若さを爆発させました。

# 共同教育学部の令和5年度一般選抜入試情報

新型コロナウイルス等の感染予防や不測の事態の対応のために、入試の実施方法にも急な変更が生じる可能性もあります。大学からの最新の情報に十分にご注意ください。

## ★一般選抜 前期日程

(共同教育学部では令和5年度入試は後期日程を実施していません)

【試験日】 2023年 2月25日(土)

【出願受付】 2023年 1月23日(月)～2月3日(金)



入試についての情報は、大学から出る「入学者選抜要項」「募集要項」に全て載っています。漏れがないようによく読んでください。

←宇都宮大学のホームページの入試情報ページ

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>

**WEBでの出願方式**になっています→  
操作方法や手続き方法など早めにお確かめください。



<https://e-apply.jp/e/utsunomiya-u/>

## 【一般選抜直前特設サイトを開設しています】↓

出願直前オンライン個別相談会を開催

2023年 1月21日(土) 10～12時

<申し込みは1月19日(木) 17時まで>



<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/udaiadm2023.html>

## 編集後記

このメッセージ集は全国の高校に送っています。残念ながらすべての高校というわけではないのですが、遠方から入学した高校生の出身高校が「あ、送った学校だ」となったときには、しみじみとします。

新たな縁の高校が出てきたときには追加して送付しています。もちろんどこまでも増やせるわけではないのですが、可能な限り共同教育学部に関心のある高校のお手元に届けたいと願いつつ、本号も作成しました。

高校関係者とお会いする機会で、「読んでいる」ことを伝えていただくとありがたい気持ちです。高大連携の第一歩とはそういうことからかもしれないですね。

宇都宮大学共同教育学部 メッセージ集

「学校好き、集まれ!」 第4号

2023年1月11日 発行

発行者: 宇都宮大学 共同教育学部

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

編集責任: 川原 誠司 (共同教育学部教員)

共同教育学部の

ホームページを

ぜひご覧ください。→

<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp>

